

2023年度

事業報告書

自：2023年4月 1日

至：2024年3月31日

東京都港区芝公園4丁目7番4号
公益財団法人 三康文化研究所

目 次

I. 事業の状況	2
1. 公開講座	2
2. 研究座談会	2
3. 研究会	3
4. 研究冊子の刊行	3
5. 学会参加	4
6. 附属図書館(三康図書館)	4
7. 収益事業(建物賃貸業)	11
II. 処務の概要.....	11
1. 役員等に関する事項	11
2. 会議に関する事項	11

I. 事業の状況

1. 公開講座

2023年度はハイブリッド形式(会場参加、Zoomミーティング)で事業計画通り計3回開催した。2022年度に引き続きホームページ、Facebook(フェイスブック)、及びX(旧:ツイッター)で案内し、さらに大学、研究機関、新聞社等へ開催案内を事前に送付した。新聞記事については、宗教専門紙である「中外日報」(株式会社中外日報社発行)及び「仏教タイムス」(株式会社仏教タイムス社発行)で公開講座の開催案内と発表内容について掲載された。

開催年月日	題 目	発表者	聴講申込者数
2023年5月22日	①「『バガヴァッド・ギーター』の翻訳をめぐる」 ②「仏教と鐘」	古宇田亮修研究員 西村実則研究員	35名(内、会場参加は4名) アーカイブ視聴回数: 31回
2023年10月16日	①「世親『往生論』入門-なぜ浄土宗正依の論書なのか-」 ②「『観経』に関する書誌学的整理」	石川琢道研究員 柴田泰山研究員	105名(内、会場参加は10名) アーカイブ視聴回数: 61回
2024年3月5日 ※2月5日に開催予定だったが、 荒天により順延	①「弘法大師御誕生1250年記念-法然上人の弘法大師への思い-」 ②「徳川家康と増上寺」	林田康順研究員 宇高良哲研究指導員	88名(内、会場参加は11名) アーカイブ視聴回数: 83回

2. 研究座談会

当法人の研究員が、インド学、仏教学、及び仏教文化に関する研究について、闊達な意見を交わす会。2023年度は事業計画通り計2回実施した。

開催年月日	研究内容
2023年10月16日 (閲覧室で開催)	「江戸時代の浄土宗の一般人に対する伝法である化他五重の歴史の変遷について」 宇高研究指導員の研究報告を中心に検討した。
2024年3月5日 (閲覧室で開催)	「浄土宗寺院の将来像について」 浄土宗の寺院・僧侶が減少している問題をどのように解決していくべきかについて議論した。

3. 研究会

種 目	開催年月日	研 究 内 容	研究会メンバー
原典研究会 担当者 西村実則研究員 古宇田亮修研究員	自2023年5月18日 至2024年2月8日 (研究室で開催) 計3回 ※事業計画では6 回実施予定であ ったが研究メン バーの体調不良 により3回の実 施となった。	梵本・パーリ本の仏典の 輪読と校合	大南龍昇(元大正大学) 佐藤堅正(大正大学) 石田一裕(〃) 西村実則(研究員) 古宇田亮修(研究員) 以上5名
日本仏教史 研究会 担当者 宇高良哲研究 指導員	自2023年11月14日 至2024年3月7日 計10回 ※事業計画通り 実施	①増上寺史料「知恩院門跡 尊超法親王関東参向 記」の解読作業 ②川越蓮馨寺日鑑の解読 作業	①のメンバー 西城宗隆(増上寺) 宇高良哲(研究指導員) ②のメンバー 中野真理子(元増上寺) 中川仁喜(大正大学) 宇高良哲(研究指導員) 以上4名
浄土教典籍 研究会 担当者 林田康順研究員 柴田泰山研究員 石川琢道研究員	自2023年5月18日 至2024年3月7日 計6回 ※事業計画通り 実施	了誉聖問 『顕浄土伝戒論』 の研究・輪読	林田康順(研究員) 柴田泰山(〃) 石川琢道(〃) 以上3名

4. 研究冊子の刊行

- ① 所報第五十八号 (A5判・46頁・200部) 2023年7月31日発行
- ② 年報第五十四号 (A5判・207頁・300部) 2023年5月31日発行

5. 学会参加

- 宇高良哲 浄土宗総合学術大会、大正大学史学会
西村実則 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会
林田康順 浄土学研究会学術大会、日本印度学仏教学会学術大会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会、仏教文化学会学術大会
柴田泰山 浄土学研究会学術大会、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会、浄土学研究会公開講座
石川琢道 浄土学研究会、日本佛教学会、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、東アジア仏教研究会
古宇田亮修 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、千葉・関東地域社会福祉史研究会、地域社会福祉史研究会連絡協議会・研究交流会

6. 附属図書館(三康図書館)

1966年に開館して以来57年を経過した。利用者の需要を分析し、その結果を踏まえ、利用者の期待を上回る「蔵書の整備」、「学習、調査、研究などに関する質問への回答」や「情報の提供」などにより一層のサービス向上を図り、充実した図書館運営を目指している。

また、2023年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」から「5類感染症」に位置づけられたため、利用者数の制限を8名から通常の36名に戻し、当館の利用者ならびに従業員の健康と安全確保に努めて図書館を運営した。

2023年6月30日～8月31日の期間、閲覧室およびロビーの内装改修工事のため臨時休館した。2023年9月1日リニューアル開館した。

(1) 開館時間

9:30～17:00

(2) 閲覧席利用者数

定員8名(2023年4月1日～6月29日)

※臨時休館(2023年6月30日～8月31日)

通常：定員36名(2023年9月1日以降)

※引き続き、基本的な感染症対策(館内消毒、利用者入館時の手指消毒、検温、室内換気等)に取り組んでいる。なお、館内に設置していたアクリル板については、2023年9月1日に撤去した。

(3) 管理・人事

書庫・資料管理

○書庫管理 各書庫の定点温湿度測定と、定期的な清掃を1回実施した。

※事業計画では年2回、8月(害虫書庫消毒対策後)と12月に実施する予定であった。2023年度は閲覧室とロビーの内装改修工事を実施し、9月1日リニューアル開館準備に向けて対応したので8月の清掃を実施できなかった。

○消毒 虫害対策として、専門業者による書庫の消毒、及び点検を実施した。
資料のデータ入力時における資料清掃も実施した。

○資料保存 専門業者による酸性化した雑誌187冊分の脱酸処理と破損部補修、虫損の写本3冊の修理、破損図書30冊分の製本修理を実施した。

(4) 資料受入

2023年度受入分は次の通りである。

① 図書

1. 購入 117冊
2. 寄贈 117冊
1. 及び2. の合計 234冊
3. 除籍 0冊

② 雑誌

1. 新規継続購入 0タイトル
2. 新規継続寄贈 1タイトル
1. 及び2. の合計 1タイトル
3. 追加入力雑誌 0タイトル
4. 欠号分等補充購入 2タイトル(27冊)
すべて所蔵雑誌の欠号補充
5. 欠号分等補充寄贈 5タイトル(27冊)
『ひまわり』『それいゆ』『ジュニアそれいゆ』『女の部屋』4タイトルは所蔵していない雑誌の欠号補充
6. 除籍 0タイトル

2023年度の受入により当館所蔵の図書、及び雑誌の総数は次の通りとなった。

図書総数 261,034冊

雑誌総数 7,136タイトル

※雑誌総数には、今まで図書扱いであった資料が、雑誌扱いに変更された際のタイトル数も含まれる

(5) 蔵書資料のデータベース作成と公開

2024年3月31日現在までの状況は次の通りである。

① 椎尾家旧蔵資料

資料件数 段ボール18箱分

2021年11月1日寄贈された椎尾弁匡旧蔵資料の基礎調査を実施している。なお、これらの資料には、弁匡氏の息子である弁章氏に関連する資料も含まれていたことから「椎尾家旧蔵資料(仮称)」とした。

基礎調査終了後にデータ入力し、ホームページ公開およびリストを作成する。

② データベース作成中の分野

○旧大橋図書館の蔵書

地理・地誌、自然科学

なお、文学のデータ入力は2024年3月29日に終了した。

○三康図書館設立以降に受け入れた蔵書

新規受入図書・雑誌、湯山文庫(外国語図書)

③インターネット公開

○蔵書検索で検索可能な分野

- ・旧大橋図書館の蔵書(但し分野によっては、資料の頁、大きさ、内容細目、分類、件名等が未入力のあるデータがある)

総記の一部、宗教・哲学、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、国防・軍事、産業、芸術、児童書、閲覧禁止本(憲秩素本)、自然科学の一部、工学の一部、文学の一部、雑誌

・三康図書館設立以降の蔵書

新刊受入図書(2001年度以降受入分)、雑誌、同人誌、椎尾文庫、湯山文庫(日本語図書・雑誌)

○書名50音リストで検索可能な分野

歴史、伝記、教育、語学

④既刊蔵書目録(冊子体目録)

哲学・宗教編、地理・地誌編、文学編、欧文書編、漢籍編、国書編、児童書編、雑誌、内田文庫、椎尾文庫、増谷文庫

(6)利用者へのサービス

①図書館利用状況

○図書館開館日数 199日 (前年 237日)

○図書館利用者数 1,898名 (前年 2,233名)

【内訳(重複あり)】

- ・閲覧室利用者数 524名 (書庫内保管図書・雑誌利用者 208名)
- ・書庫見学者数 221名
- ・ミニ展示見学者数 1,057名
- ・蔵書紹介(ディスプレイラック)見学者数 643名
- ・特集展示コーナー見学者数 182名
- ・研究員による所蔵資料の紹介コーナー見学者数 198名

○書庫内保管図書・雑誌の利用総冊数 3,876冊

(図書965冊、雑誌2,911冊(107タイトル))

○文書等による図書の調査(レファレンス)件数 134件

○文献複写(電子式)申込件数 143件(5,625枚)

○文献複写(写真撮影)申込件数 24件(863コマ)

○複製物掲載申込件数 21件(87点)

○翻刻申込件数 1件(75頁)

○覆刻申込件数 1件(1冊)

②資料の展示

下記の展示を実施した。

(但し、7月・8月は内装改修工事実施による休館のため、展示は実施しなかった)

○ミニ展示(展示ケースを使用しロビーで実施)

展示名	資料種類・冊数	開催時期
120年前にタイムスリップ 三康図書館の世界part1	図書6冊・雑誌8冊	2023年4月10日～4月28日
120年前にタイムスリップ 三康図書館の世界part2	図書5冊・雑誌8冊	2023年5月1日～6月2日
関東大震災100年	卷子本1巻・図書6冊	2023年6月5日～6月29日
三康図書館でみる横溝正史	図書7冊・雑誌6冊	2023年9月1日～9月29日
月岡芳年	卷子本1巻・図書5冊	2023年10月2日～11月2日
博文館に関わった硯友社の作家たち	卷子本3巻・図書8冊 雑誌3冊・写真パネル3点	2023年11月6日～12月1日
200年前の出版物	図書8冊	2023年12月4日～2024年1月5日
江戸時代の絵双六	図書2冊・一枚物12点 (展示替え4回)	2024年1月9日～2月2日
平川清蔵の小品版画集	一枚物8点	2024年2月5日～3月1日
東海道五十三次漫画絵巻	卷子本2巻	2024年3月4日～3月29日

○蔵書紹介(ディスプレイラックを使用し閲覧室で実施)

展示名	資料種類・冊数	開催時期
三康図書館で人気の雑誌 -少女の友-	雑誌12冊	2023年4月10日～4月28日
三康図書館で人気の雑誌 -新青年-	雑誌20冊	2023年5月1日～6月28日
関東大震災100年	図書18冊・雑誌3冊	2023年6月5日～6月29日
三康図書館でみる横溝正史	図書17冊・雑誌13冊	2023年9月1日～9月29日
三康図書館で人気の雑誌 広告界	図書12冊	2023年10月2日～11月2日
永井荷風	図書19冊・雑誌2冊	2023年11月6日～12月1日
100年前の出版物	図書32冊・雑誌4冊	2023年12月4日～2024年1月5日
戦前の日記	図書11冊	2024年1月9日～2月2日
戦前の辞典	図書14冊	2024年2月5日～3月1日
戦前の地理教材 教科書・学習 参考書	図書22冊	2024年3月4日～3月29日

○特集展示コーナー(書架を使用し閲覧室で実施)

展 示 名	資料種類・冊数	開催時期
日本民話の絵本	図書14冊	2023年4月3日～6月29日
世界民話の絵本	図書15冊	2023年9月1日～11月30日
教職員の文芸誌 文芸広場	雑誌34冊	2023年12月1日～2024年2月2日
短編小説同人誌 郵送小説/ みっどないと	雑誌40冊	2024年2月5日～3月29日

○研究員による所蔵資料の紹介コーナー(書架を使用し閲覧室にて実施)

テーマ	冊数	企画研究員	開催時期
仏教と鐘	2冊	西村実則	2023年4月3日～6月29日
観無量寿経	4冊	柴田泰山	2023年9月5日～12月27日
徳川家康と増上寺	4冊	宇高良哲	2024年1月5日～4月26日(予定)

③三康図書館ホームページ

2000年7月に開設したホームページを、2019年10月25日にリニューアルし、当館の紹介や蔵書検索の充実に努めている。

○アクセス数

2024年3月31日までの累計アクセス数 321,286件

2023年度1年間のアクセス数 52,752件 (対前年度比5,720件増 ※NDLサーチとの連携(2023年3月開始)(⑩参照)により、所蔵資料を検索する利用者が増加した。

また、ラジオ番組や、ホームページ「日本の古本屋」のコラム等で、当館所蔵資料や取り組みについて紹介されたこと、みなと図書館との連携(⑪参照)によるイベントが開催されたことで、当館について知りたい利用者が情報を求めてホームページにアクセスしたと考えられる。)

○蔵書検索

現在ホームページからの蔵書検索は、書名、著者名等を入力して検索する「ライブファインダー・ウェブ」(2009年4月23日使用開始)による方法と、書名50音順のリストから検索する二つの方法がある。将来的には全てのデータを「ライブファインダー・ウェブ」から検索する方法に統一する。

④Facebook(フェイスブック)

2018年6月15日に運用を開始、図書館の情報発信をしている。

2024年3月31日までの累計リーチ数 44,741件

2023年度1年間のリーチ数 5,089件

(対前年度比 9,118件減 ※2022年度は大橋図書館120周年記念事業として講演会を4回開催したが、2023年度は2回の開催となったため、講演会に関連する投稿数やマスコミの取材が減ったことからリーチ数も減少した。また、フェイスブックは日本での利用率も

減少している。(令和3年度32.6%、令和4年度29.9%)

(参考:「令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報鼓動に関する調査報告書」
(総務省情報通信政策研究所))

*リーチ数とは当館のFacebook投稿記事の閲覧回数

⑤X(旧:ツイッター)

2019年6月24日に運用を開始、図書館の情報発信をしている。

2024年3月31日までの累計ポスト(ツイート)インプレッション数 483,012件

2023年度1年間のポスト(ツイート)インプレッション数 118,864件

(対前年度比 27,498件減 ※インプレッション数減少の理由は④Facebook(フェイスブック)
に記載した通り。Xの利用率も若干減少している。(令和3年度46.2%、令和4年度45.3%)

(参考:「令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報鼓動に関する調査報告書」
(総務省情報通信政策研究所))

*ツイートインプレッション数とは当館のX投稿記事の閲覧回数

*ポストインプレッション数は2023年度から統計開始された

*ポストインプレッション数とは当館のX投稿記事の閲覧回数+Googleの検索結
果の表示数

⑥書庫VR(ヴァーチャルリアリティ)動画

当館には、第1書庫から第5書庫まで5つの書庫がある。これらの書庫に保管されている資
料を利用者に紹介し、利活用につなげるために2021年7月公開したVR動画に、2022年移動
できる場所を30箇所増加、ホームページ内の資料紹介ページへのリンクボタンを30箇所
加えるリニューアルを行った。資料紹介ページは順次作成する。

2024年3月31日までの累計アクセス数 5,771件

2023年度1年間のアクセス数 951件 (対前年度比 1,037件減 ※VR動画の紹介ペー
ジを新たに作成していないことから目新しさが感じられなくなったためと考えられ
る)

*アクセス数はホームページ「蔵書紹介」へのアクセス数

⑦講演会

2023年度も当館が蔵書を継承している旧大橋図書館の歴史や功績、所蔵資料の魅力を伝
え、利用につなげるために講演会を会場とオンライン(Zoomミーティング、YouTube)を併
用したハイブリッド形式にて開催した。

開催についてはホームページ、Facebook(フェイスブック)、及びTwitter(ツイッター)
でご案内、さらに大学、研究機関、及び報道機関(都庁記者クラブに所属する新聞各社等)
へ事前に案内を送付し開催案内と発表内容についての記事が掲載された。その結果、多く
の人が参加した。

開催年月日	題 目	発表者	聴講申込者数
2023年9月18日	「三康図書館でみる横溝正史」	浜田知明氏 黒田明氏	204名(内、会場参加は25名) アーカイブ視聴回数: 334回
2023年11月26日	「博文館が育んだ明治文学～硯友社と永井荷風を軸に～」	多田蔵人氏 (国文学研究資料館准教授)	114名(内、会場参加は20名) アーカイブ視聴回数: 95回

2022年度第1回講演会(2022年6月22日開催)「公共図書館の源流 大橋図書館～出版社が作った図書館～」の字幕付アーカイブを作成しYouTubeで公開した。

今後、これまで開催した講演会についても、発表者の許諾を得られたものに限り順次公開する。

⑧「レファレンス協同データベース事業」への参加

当法人では国立国会図書館と「レファレンス協同データベース事業」への参加(申請書)を2019年4月4日に取交し、紙媒体に記載したレファレンス事例、および資料の調べ方マニュアルのデータ入力と公開を進めてきた。データ入力を進めるにあたり入力内容の統一を図る必要性が生じたことから、現在、入力マニュアルの作成を進めている。

⑨広報活動

多くの方に三康図書館の諸活動や取り組みを紹介するために見学会やメディアへの取材協力、職員が外部講演講師を務めるなど様々な情報発信を行っている。

○見学会

図書館関係者(7回 計84名参加)

○Wikipediaイベント(1回 6名参加)

Wikipediaとはインターネット百科事典のことで、当館の資料を利用して項目の執筆をされた。

○メディア取材・紹介

新聞・テレビ・ラジオ・インターネット等(11回)

○職員外部講演講師・パネラー

大学・図書館・図書館関連セミナー等(5回)

⑩第25回図書館総合展に参加

会場開催：2023年10月24日～10月25日(パシフィコ横浜アネックスホールほか)

オンライン開催：2023年10月26日～11月15日

○「ポスターセッション」への参加

「学生が語る三康図書館の魅力」と題したポスターを作成し、会場および図書館総合展特設ページ、図書館総合展終了後は館内にて掲示を行った。

○図書館の防災減災特集展示2023

関東大震災100年や防災減災に関する展示を行っている全国の図書館から展示情報

を集めてウェブページ上に公開するページに三康図書館ミニ展示「関東大震災100年」情報を公開した。

⑪芝地区にある図書館・博物館を巡るスタンプラリー企画へ参加

東京都港区立みなと図書館を中心とした図書館・博物館を巡るスタンプラリー企画「巡りぶ」へ参加した。2024年2月10日(土)には特別開館を行い書庫見学会を開催した。「巡りぶ」開催期間：2023年11月1日～2024年2月29日

⑫「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」に基づく貴重資料のデジタル撮影の実施

当法人では、2021年1月20日に大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料(以下国文学研究資料館と記す)と当該覚書を締結した。当館が所蔵する貴重資料のデジタル化を進め、国文学研究資料館ホームページ「新日本古典籍総合データベース」にてデジタルデータを日本、海外へ順次公開する。覚書に基づき、2023年度は所蔵資料の写本(手書きの資料)約1,500点の内、卷子本11点(12軸)、冊子本60点(130冊)を撮影した。なお、国文学研究資料館におけるデジタルデータ公開時期は2024年秋頃の予定である。

⑬三康図書館写本資料デジタルデータ作成の実施

当法人所蔵資料の写本(手書きの資料)が、約200点ある。順次デジタルデータを作成し保存するとともにホームページで公開していく。2023年度は『三縁山廣度院増上寺図』『三縁山廣度院増上寺絵図』等、計24点(絵図2舗、卷子本1巻、冊子本14冊、1枚物28枚)デジタルデータを作成した。

⑭「国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)」との連携

当法人では国立国会図書館と「国立国会図書館サーチから「三康図書館蔵書検索」への連携について」(許諾書)を2022年12月16日に取交し、2023年3月13日から児童書をはじめ、児童書以外の分野の資料についてもデータを作成した所蔵資料については、NDLサーチにて検索できるようになった。2024年1月5日、NDLサーチが新システムになったため、新たに雑誌、および新聞データにISSN(国際標準逐次刊行物番号)、全国書誌番号の追加入力が必要となり作業を進めている。

7. 収益事業(建物賃貸業)

不動産賃貸事業は計画通り推移した。

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

2024年3月31日 現在

理事	6名
監事	2名
評議員	10名

(1) 理事

理事長 小澤 憲 珠(大本山増上寺 法主)

常務理事 奥山吉之(元株式会社西武ライオンズ 監査役)
 理事 井澤隆明(大本山増上寺 執事 教務部長)
 宇高良哲(三康文化研究所 研究指導員)
 四十崎裕(西武鉄道株式会社 執行役員 資材部長)
 佐瀬満雄(元株式会社西武ホールディングス 監査役室長)

(2) 監事 袖山榮輝(大本山増上寺 執事 財務部長)

稲垣健太(株式会社西武リアルティソリューションズ 執行役員 人事部長)

(3) 評議員

小林正道(大本山増上寺 執事長)

伊藤広喜(大本山増上寺 執事 施設部長)

赤羽海衆(大本山増上寺 執事 総務部長)

友田達祐(法伝寺住職)

巖谷勝正(祐天寺住職)

青柳雅人(西武鉄道株式会社 管理部 課長)

石川寛(株式会社西武ライオンズ 監査役)

牧野宏行(株式会社西武リアルティソリューションズ 管理部 課長)

小柳光雄(元西武プロパティーズ 常勤監査役)

桑名健(元西武鉄道株式会社 勤務)

2. 会議に関する事項

開催年月日	会議名	報告事項・決議事項	会議の結果
2023年5月26日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 決議事項 1. 2022年度事業報告書について 2. 2022年度決算報告書について 3. 理事・監事推薦について 4. 定時評議員会招集及び提出議案について	原案通り承認可決した 〃 〃 〃
2023年6月12日	評議員会	報告事項 1. 2022年度事業報告書について 決議事項 1. 2022年度決算報告書について 2. 理事・監事・評議員の選任について	原案通り承認可決した 〃
	理事会	決議事項 1. 代表理事及び理事長選任について 2. 常務理事選任について	原案通り承認可決した 〃
2024年2月19日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 2. 2023年度開催公開講座および講演会について	

	決議事項	
	1. 2023年度減価償却引当資産の取り崩しについて	原案通り承認可決した 〃
	2. 2024年度事業計画について	〃
	3. 2024年度事業収支予算について	〃
	4. 2024年度設備投資計画について	〃
	〃	〃
	5. 事務局長の任免について	

以上の通り2023年度事業の概要を報告いたします。

2024年 5月 17日

公益財団法人 三康文化研究所

理事長 小澤 憲 珠